

目標達成計画

作成日：平成31年3月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に沿ったケアを行うため、理念の項目1つ1つの意図について、理解を深めていく必要がある。	職員全員が理念を理解し、共有しケアの統一を行う。	理念を具現化していくため職員全員で話し合いを行っていく。	12ヶ月
2	35	災害時の消防訓練は定期的に行っているが、地震や水害、自然災害等の訓練ができていない。	地震や水害等の訓練を計画し実行する。職員への急速な連絡体制と地域の方の支援を含めた避難方法を身に付ける。	勉強会、研修会等で避難方法や避難場所を把握し理解する。地域の方に参加して頂く。	12ヶ月
3	36	排泄後の結果を大きな声で伝えたり、トイレの扉が開いていたりプライバシーの確保が薄れて行っている。親しいつもりで「ちゃん」付けで名前を呼んだりしている。トイレや居室に入室するとき「ノック」をしていない。	一人一人を人格尊重した言葉使いを心掛け一人一人のプライバシーを確保する。	利用者と職員と信頼関係を築きつつ、介護サービス提供者として介護保険法に則った節度をもって対応していく。	12ヶ月
4	49	日常的な外出に偏りがある。ADLの低下と共に車椅子の方は特に外出の機会が少なくなっている。	日常的に外出している利用者は今後も継続し、外出の機会が少ない利用者の外出の機会を増やす。	個々に応じた外出を行う。車椅子の方は近隣への散歩等積極的に外気に触れていただく。職員間での業務の協力をしながら短時間でも近隣への外出支援をする。また、外出計画を立てていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。